

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立倉吉東高等学校

重点項目	グローバル人材育成重点校	提出日	令和4年12月21日
------	--------------	-----	------------

1 学校目標
世界市民として、豊かな文化の創造、民主的な社会及び平和的な国際社会の形成に進んで貢献することのできる、知・情・意を兼ね備えた、自主的・自律的で、生きる力に満ちた生徒を育成する。
2 重点項目に係る目標
<p>・アナログとデジタルをバランスよく活用して知識や技術を身につけ、それらを日常生活や他教科と横断的に結びつけながら探究的に学ぶことにより、グローバルリーダーとして活躍できる人材の育成を図る。</p> <p>・社会奉仕と環境問題に取り組み、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、生徒が主体的に地域貢献・国際貢献が行えるような指導を行う。</p> <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none">・各教科における複数名教員のワークショップ受講・IBの手法を取り入れた授業計画と実施、公開授業週間の設定（年間2回）・中学校及び地域への啓発（IBコースへの関心をもつ中学生 30名以上）・生徒の創造活動・奉仕活動参加80%以上・在籍のうち、英検2級取得者120名以上、英検準1級5名以上
3 事業計画（事業名、事業概要）
<p>【高等学校課事業】 なし</p> <p>【独自事業】</p> <p>■探究活動推進事業</p> <p>○成果発表会</p> <p>本校生徒と海外交流校（韓国安養高等学校、台湾桃園高等学校、シンガポール・セントジョゼフ）生徒とが共同研究を行い、交流校生徒と担当教員を成果発表会に招く。また、その生徒は、海外交流校高校生とともにスライド発表形式で成果発表会参加者全員に対して成果発表を行う。本校に招くことができない場合は、オンラインもしくはビデオ形式で発表を行う。</p> <p>■Glocally 体験事業</p> <p>○海外研修旅行（2年 台湾研修）</p> <p>21世紀の世界に視野を向けられるよう高校時代に異文化体験させるとともに、近隣諸国の歴史的関係を学ぶことにより自国の理解を深めると同時に、日本人としてのアイデンティティ</p>

(様式1)

ィーを見つめ直す機会とする。

海外研修旅行 2年次生 台湾 令和5年10月17日～20日

○倉東 Global Week

21世紀のリーダーを育成するには、グローバル化された社会を想定し、英語での実践的なコミュニケーションやパフォーマンスができなくてはならない。その目標となる発表の場を設けることで、生徒の英語力の更なる向上を図る。具体的には、1年生レシテーションコンテスト・1年生スピーチコンテスト、2年生英語プレゼンコンテスト、英語講演会を実施する。

【国際バカロレア教育導入事業】 … 高等学校課一般会計予算

世界に通用する論理的思考力や表現力、コミュニケーション能力などが身に付けられることで国内外から高い評価を得ている国際バカロレア（IB）教育を実施するため、令和4年度中の認定を受け、円滑な実施を目指して以下の事業を実施するとともに、IBの認知度向上と機運醸成を図る。

○校内研修会の実施

○先進的なIB認定校視察及び短期研修（東京学芸大学附属国際中等教育学校、札幌開成中等教育学校、都立国際高等学校、高知国際高等学校、加藤学園、シンガポール・セントジョゼフ他）

○IB海外カンファレンス（シンガポール又はオーストラリア）、IBコンソーシアム協議会（国内）への参加

○管理職、IB教員のワークショップ参加（10講座）

【学校主催事業】

本校独自に、認定状況の説明、中学校・地域への啓発及びIB教育への理解の推進のため、以下の事業を実施する。

○保護者向け研修会（育友会共催研修会）

国際バカロレア資格取得対象者向けの国内大学の入試情報を保護者に提供する。

○中学校への説明会及び中学生向け国際バカロレア教育体験授業の実施

夏季休業中の中学生体験入学時及び年2回程度の体験授業を予定。

○模擬授業公開週間の周知（倉東まなびウィーク）

IBの手法を取り入れた模擬授業を公開し、国際バカロレア教育の周知を図る。

※枚数任意